

富山県アイバンク
だより



「献眼者遺族の手記」

堺 省三

(となみセントラルライオンズクラブ)

4月19日、当日も朝から春たけなわの日和で父は日課となっている犬との散歩をおえ、いつもの通り仏壇、弁天堂の参拝と、朝食も普段通りすませて指定席で朝のテレビドラマを見てだんらんしておりましたが、突然身体の不調を訴え、救急車で病院に運ばれました。病院での必死の蘇生治療の甲斐もなく急性心不全で帰らぬ人となりました。その間わずか一時間足らずの出来事で、母はもちろん私たち家族は、何が何やら分からぬまま悲しむ間もなく、仏となった父と共に、親戚、近所の方々に迎えられ仏間へ入り、寺方の手配、葬儀関係を皆さんに任せて、呆然としておりました。

その時、ふと、十数年前家族全員で献眼登録をしたことを思い出し、悲しむ母に、どう納得させれば良いか考えました。

当時、アイバンクに登録する際に「大事な親から授かった体の一部を取るなんて」と、母が反対した事を思い出し迷いましたが、嫁いでいる妹の夫も同じライオンズクラブ会員であり、同時に共に献眼登録者でもあり、「ばあちゃん、今、爺ちゃん目（角膜）をあげるにより、目の不自由な方の役にたてば良いがでないがけ」との言葉に納得してくれました。

その時すでに二時間以上も経過しておりましたがクラブの四献委員長に相談し、委員長の敏速・適切な連絡によりアイバンク事務局より、「時間的に十分余裕があります。一時間後に、摘出手術に来ます。」との連絡を受けました。

検査の結果幸いにも移植に必要なとされる角膜細胞も、両眼とも基準以上ありましたので献眼することができました。

葬儀当日も、地区カバナーの村上明ライオンより感謝状を、また、富山県アイバンク理事長井村東司三様よりご丁寧なる弔辞をいただき感激いたしました。

ここで、弔辞の一部を紹介させていただきます。



【献眼は人生最後の奉仕であり最高の御布施であると信じます。棺に納める前に身体の一部でも損傷することに抵抗を感じる方も居られましようが、けれども全部灰にするか、一部でも生き続けさせる途を選ぶか？この一部が即ち献眼、角膜移植であります。】

今、四十九日法要も勤めさせていただき、日常生活にもようやく落ち着きを取り戻しました。こうしている今もどこか父の瞳が生きてお役に立っていることを想うと母をはじめ残された私たち家族はしみじみ献眼をさせていただき本当に良かったと思っております。

最後になりますが、ライオンズ関係並びに多数の方々に深く御礼を申し上げます。



塚 一夫様 (平成13年4月19日ご逝去)

献眼者ご芳名

平成13年1月～平成13年6月まで

平成13年

1月 故 山崎 昭様 (魚津市)

2月 故 笹木 あや様 (婦中町)

3月 故 廣木 うめ様 (黒部市)

故 杉山 和美様 (高岡市)

故 稲村 民子様 (入善町)

4月 故 永森 栄二様 (高岡市)

故 堺 一夫様 (砺波市)

6月 故 尾間勝次郎様 (高岡市)

故 岡田 雅光様 (富山市)

故 大間知弘次様 (富山市)



献眼者ご遺族様へ厚生労働大臣の
感謝状伝達 (県庁特別室において)

開眼者の手記

前略

突然の手紙で失礼いたします。

わたしは8月に角膜を頂いた者です。現在、順調に視力が回復しています。本当にありがとうございました。

最初に角膜移植をしなければいけないと聞いた時は早く手術を受けたいと簡単に考えていました。しかし実際に手術が決まった時、自分が手術を受けれるのは誰かが亡くなり、その御家族の方の承諾があったからという事に気付き、自分の事しか考えていなかった自分を恥ずかしく思いました。それと同時に角膜を提供してくれた方と御家族の方に大変申し訳なく思い悔やみました。

今は感謝の気持ちでいっぱいです。これからも感謝の気持ちを忘れずに、一日一日を大切に生きていこうと思います。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、心からご冥福をお祈り申し上げます。

乱筆をお許し下さい。



草々

12月19日



ライオンズクラブとアイバンク

富山県アイバンク理事長
井村 東司三



ライオンズクラブ（創設1917年）が米国オハイオ州セダーポイントで開催した第9回国際大会（1925年）に出席された三重苦の聖女ヘレンケラー女史から「ライオンズの皆さん、暗闇の行進の先頭に立ち、盲人の騎士として愛（Eye）の灯を高く掲げてください。あなたのランプの灯をもうすこし高く掲げてください。見えない人々の行く手を照らすために」と熱唱されたのに深く感動を覚え、以来使命感をもって視覚障害者の為に働きはじめました。白い杖、点字、盲導犬、アイバンクと係ってきました。

アイバンクは現在、国内に51ありますが、濃淡の差はあっても全てのアイバンクにライオンズクラブが関与しています。

アイバンクの最も重要な事は一般大衆への啓発普及と献眼登録でありまして北陸では当県がライオンズを先頭に活躍しておりますが、名称だけは大体知られたようですが理解度はまだ十分でないようです。石川県、福井県のライオンズも当県をモデルに本腰をいれられると思います。

県内広くアイバンク事業に携わってやろうという方々の多くなることを期待します。当然のことながらアイバンクは決してライオンズの専売特許ではありません。

又、病院開発も大切なことで院内コーディネーターの役割を果たしてくださる方が多くなるようもっと働きかけが必要であると思っており取り組んでいるところであります。

明年4月には県アイバンク設立10周年記念大会を計画していますが、まずは尊い献眼をしていただいた故人の方々に対する追悼と敬意そして感謝を込め、御遺族に改めて深く謝意を表するとともに10年間の歩みで現在まで御尽力、御指導、御援助を頂いた県当局をはじめ諸先輩に感謝の辞を申し上げるものであります。次に大会が一つの節目になり今後いよいよ発展していくよう祈念し大きな啓発普及の場となることを期するものであります。

院内コーディネーターとしての アイバンクへのとりくみ

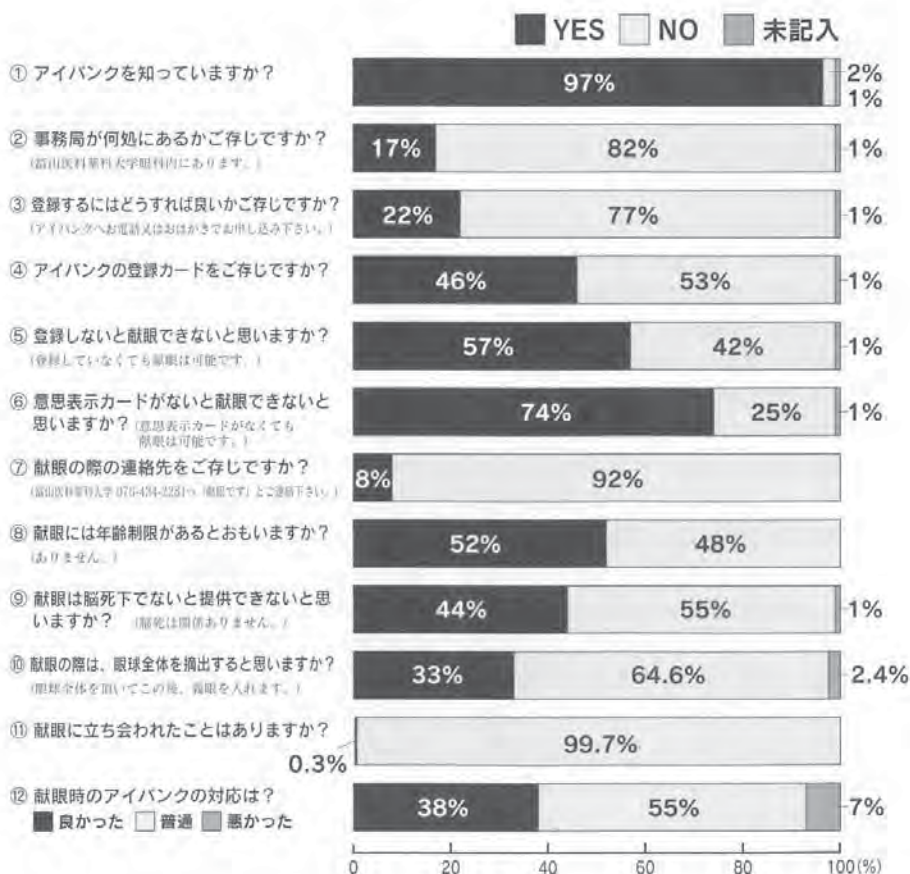
高岡市民病院
峯 美代

脳外科病棟に勤務していた私に、院内コーディネーターとして、県の研究会に参加していく様にとの上司の言葉にとまどいと、医療に従事しておりながら臓器移植に対する関心と理解が出来ておらず、不安一杯の参加に始まり、早くも2年目になりました。一昨年のある日、病棟に献眼登録をされた患者さんがおられ、実際の提供には結びつかなかったことを耳にしました。とりわけ私が直接対応したわけではありませんでしたが、どうも気になり実際の確認のため、県アイバンクコーディネーターの入江さんにTELをしたところ、亡くなられる少し前より感染症にかかり献眼に至らなかったことを聞き残念な思いと折角の提供者の方の願いが果たせなかったことを思うと、ご遺族の皆様は無念に思っているんじゃないかなと思えました。いったいどんなことを、どう係わっていけばいいのか、自分の役割が見えてこず、モヤモヤとした中で過ごしていましたが、とにかく、婦長会議の席で報告の機会をもらい、院内コーディネーターという立場である自分のアピールと他の婦長達にも関心をもってもらい、スタッフに伝達し、いつか自分達がそう遇した時、スムーズに事が運ばれることを願い、機会あるごとにどんな事でも伝達してゆけばいいのかなと思えました。それからまもなくして50代の癌でいらっしゃる方が献眼の申し出をなさり、先生に相談されているという知らせを聞かせていただき、病棟に出向き、実際の流れ

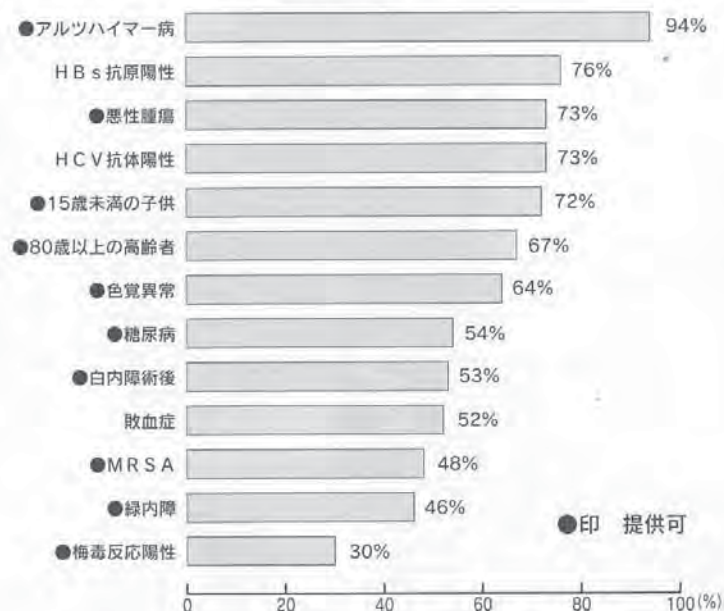
と、家族の反応、本人の思いなどを担当看護婦に聞かせていただき、とても頭の下がる気持ちにさせられました。命をたっていく自分が何か残してやれるものがないかと、強度近眼である娘に眼球をあげ、少しでも役にたたいとの気持ちが強かったのですが、それには適応にならないことを納得されて、他の方に角膜提供をなさったケースでした。その方は摘出後に出血が止まらず10分間程圧迫していたという事も聞き、それらをも含めて報告させていただきました。また、心臓死では、カードがなくても家族の承諾のみで提供出来ることなども加えて話をして来ました。昨年はこれまでの資料を参考に献眼マニュアルを作成しました。今年に入り、入江さんに相談し余り複雑でないものが良いと、献眼連絡先の記入されたものと、ドナー情報連絡事項の内容の記入された用紙をクリアケースに入れていただき全部署に配布致しました。その時の条件に見やすい場所、各部署統一した位置につりさげるというとり決めで配布しました。当院は、二次救急指定病院なので献眼の発生の確率も高いと思われるので、出来るだけ献眼される方の思いをかなえていただくために、少しでも多くのスタッフが献眼に対する関心と理解が持てるように働きかけが出来ればと思っております。

～富山県内の医療従事者への角膜移植およびアイバンクについてのアンケート調査～

本年2月、富山県内の公的病院に御協力をいただき、看護婦（士）への角膜移植ならびにアイバンクについてのアンケート調査を行いました。看護師24人、看護婦726人、計750人より回答をいただきました。看護婦経年数は、4ヶ月から46年、平均15.53±9.85年でした。



眼球提供者（ドナー）適応基準の正解率



アンケート調査の結果、医療従事者の角膜移植およびアイバンクへの理解が不十分であるとおもわれました。

平成9年に「臓器の移植に関する法律」が施行され、臓器の提供に関する情報が広く行きわたるようになりました。反面、臓器と眼球の提供適応、方法の違いについて混乱が生じていると考えられます。また、医療従事者の教育機関における眼球提供についての教育システムの構築がなされていないのも理解不足のひとつだと考えられます。

アメリカでは、アイバンクコーディネーターが医療従事者への普及啓発を行った結果、献眼者数は大きく増加したと報告されています。富山県においても医療従事者へのアイバンク理解のための病院開発が必要であると考えられました。

献眼運動ご協力ありがとうございました。



H12.ガバナー公式訪問にてご寄附を頂いた。



メガネハウス様よりご寄附頂いた。



H12.10.6
上市ライオンズクラブ
CN35周年記念式典に
てご寄附を頂いた。



富山南ライオンズクラブ主催 H12.12.1 アイバンクチャリティー「加山 昭・歌千代民謡の夕べ」にてご寄附頂いた。



H13.3.17
ちゅうりっぴライオンズクラブ
CN5周年記念式典にてご寄附を頂いた。



富山ライオンズクラブダンスパーティーにて募金を頂いた。



H13.3.27 ファーストバンク南センター会様よりご寄附を頂いた。

<連載>

眼のはなし

《眼の病気に関係する遺伝子》

富山医科薬科大学眼科学教室

講師 松本 真幸

最近ニュースなどで遺伝子という言葉をよく耳にします。遺伝子とは何か？できるだけ専門用語を避け、わかりやすく解説します。

遺伝子は、人の体を作り維持するための設計図です。胎児は両親からそれぞれ23個の染色体をもらい、それらの染色体に数万種類含まれる遺伝子を基にして胎児の体はできあがり、大きく成長していきます。体と一言で言っても、体の中には脳、心臓、その他の内臓、それに加えて音を感じる耳、光を感じる眼などの特殊な臓器も含まれています。これら働きの異なる臓器を作るためには多くの設計図が必要になります。眼を形成するのに必要な遺伝子がいくつあるか正確には把握できませんが、これらどの遺伝子に異常があっても将来病気になることが知られています。

反対に、この遺伝子異常を早期に発見し治療することで病気にはならないであろうと考えるのは自然な発想です。それが遺伝子治療という概念の始まりでした。一部の酵素欠損症（体内の酵素を作る遺伝子の異常）に対しては、生後正常な酵素の遺伝子を体内に組み込むことにより、ある程度遺伝子治療の効果が期待できます。これは一種の補充療法と考えることができます。

網膜色素変性は眼の遺伝子異常で最も知られている病気の一つです。いわゆる鳥目、夜盲を初発症状とし、後に視力低下や視野狭窄を引き起こす難病です。この病気を引き起こす遺伝子は上述した酵素とは違い、神経を構成する構造蛋白の異常で起こることが多く、

補充療法の対象にはなりません。すなわち、胎内で眼が形成されたときには、既に異常な遺伝子を持つ網膜という神経細胞がそこに存在するわけです。正常な網膜と取り替えようとしてもこの段階では既に手遅れとなっています。

現在研究されている遺伝子治療には、障害されている網膜の機能を復活させるためにそれを補助する別の遺伝子を網膜に組み込んだりするものがあります。全ての遺伝病に対して遺伝子治療が適応されるわけではありませんが、難病に対する取り組みは着実に進歩を遂げてきています。数年前にクローン羊が話題になりましたが、これこそ遺伝子治療の究極の形と思われます。すなわち、自分と同じ遺伝子を持ったもう一人の自分を作り出し、そのクローン人間の一部、例えば眼球をまるごと自分に移植しようという考え方です。話を聞いていると恐ろしくなりますが、医学の発展によってこんな映画じみたことも現実の世界となってきました。もちろんこのようなことが倫理的に許されて良いとは思えませんし、臨床応用するためには大幅に見直すべき点がたくさんあります。

いずれにしても遺伝子には限りない可能性が秘められ、全世界の研究者が遺伝子の研究に取り組んでいます。今後も遺伝子という言葉が聞かれることがあると思いますが、一人一人が遺伝子の活用法について考えてみる必要があると思います。

コーディネーター日記 その3

(財) 富山県アイバンク事務局
入江 真理

眼科秘書さんが「アイバンクに問い合わせの電話だ」といって取次いでくれた。

受話器をとって話を始めた。登録についての問い合わせだった。電話の方は、お姉様が登録を希望しているとおっしゃった。アイバンクの登録はパンフレットに必要事項を記入して送っていただければ事務局で登録番号をつけたアイバンクカードをお送りする。登録に関しての検査などは一切ない、それに登録しても実際の提供は何年先になるか分からないので登録していることを御家族にお話していただくのが大切ですよということをお伝えした。しかし、電話の方はもう時間がないとおっしゃった。

翌日、Sさんが入院されている病室を訪れた。どんなことから話をしようか。病院へ向かう車の中で考えた。病院について病棟の看護婦さんに御挨拶して病室へ案内していただいた。電話をくださった妹さんが付き添っていらっしやう。登録のご連絡をいただいたお礼を述べお話を始めた。Sさんは、御自分が病気になってはじめて臓器提供のことを考え、主治医の先生に御相談されたこと。病状から臓器の提供は無理だけれども唯一眼球の提供は可能であると言われて連絡をくださったとのこと。それから登録方法、実際の献眼時のことを説明させて頂いた。お子さんがお二人いらして近視で眼鏡をかけているので自分の提供した角膜をお子さん達に移植してほしいと希望された。残念ながら近視は角膜移

植適応症例ではないので御希望に添えないとお話すると、Sさんは「でも自分が提供した角膜で誰かが21世紀を見ていってくればこんなに嬉しいことはない」とおっしゃった。その言葉に私は感動した。そしてパンフレットをお渡しして病室を後にした。その後主治医の先生にお目にかかり病状等についてお聞きした。登録されていても、土壇場で提供できなくなる可能性もある。Sさんの希望にできるだけ添えるように3日後にご本人の御了解を得て採血をさせて頂いた。

そして9日後、病院から連絡が入った。先日の採血の結果も問題なかったため病院へ向かった。病室には御主人様とお二人のお子さんがおられた。御主人様に連絡を頂いたお礼を述べ再度提供の意志確認を行い承諾書にサインを頂き医大の眼科医師のもとでご提供頂いた。

2日後、理事長と御葬儀に参列させて頂いた。お元気な時のお写真を拝見し闘病生活の大変さを想像した。奥様としてお母さまとして女性として人生を駆け抜けていったとの御主人様の言葉に同じ女性として私自身の生き方を考えるきっかけを与えてもらったような気がした。

ご芳志ありがとうございました。

平成12年1月～12月
敬称略

□寄付者 ご芳名

☆一般

齊藤克子	30,000	島倉クリニック	2,000
------	--------	---------	-------

☆ライオンズクラブ関係

井村東司三 (高岡古城LC)	500,000	富山南ライオンズクラブ	1,000,000
大黒幸雄 (高岡伏木LC)	200,000	ライオンズクラブ2 R 1 Z	100,000
阪神容器株式会社 (富山LC)	200,000	ライオンズクラブ2 R 2 Z	100,000
高瀬清春 (富山LC)	100,000	ライオンズクラブ2 R 3 Z	100,000
寺崎達二 (魚津LC)	100,000	上市ライオンズクラブ	100,000
伊勢豊彦 (高岡古城LC)	100,000	野村謹吉 (砺波LC)	10,000

□賛助会員

☆一般

伊藤	宝田 力
寺田英子	大橋弘美
山崎清彦	網美保子
正川敏治	
片口眼科医院	越生眼科医院
新・宝田眼科クリニック	
桜町眼科医院	ますだ眼科医院
尾崎眼科医院	土田眼科医院
金子眼科医院	斉藤眼科医院
福尾眼科医院	水木眼科医院
山田祐司眼科医院	桐沢眼科医院
柴田眼科医院	千羽眼科医院
田中眼科医院	大角眼科医院
片山眼科医院	八田眼科医院
中川眼科医院	石田ひとみ眼科医院

☆ライオンズクラブ

- ・富山昭和ライオンズクラブ
- ・富山セントラルライオンズクラブ

・魚津ライオンズクラブ

高岸和男	小坂 章	吉崎 実
広田清定	塚本 滋	寺崎達二
石橋嘉夫	稗苗清吉	袋井隆俊
河崎直通	八木 洋	福田正博
小西 清	入井孝博	仲俣 勲
長岡昭男	松原正治	高縁 勲
富山 剛	慶野耕一	谷口正明
油本 茂	高縁 勉	石崎敬治
佐々木幹郎	玉島昭男	
大崎利明	大崎峰俊	
清河 衛	石川雅朗	

・高岡ライオンズクラブ

・高岡古城ライオンズクラブ

矢部優子

・高岡南ライオンズクラブ

・高岡伏木ライオンズクラブ

山 孝之	広瀬捨勝
鳥山 博	開本正則
青木英勝	芹原良明

中村嗣男	寺畑喜朔	熊野 清	熊野澄夫
山下光造		熊野俊明	黒田文彦
(株)マルチアクセスカンパニー		小西昭夫	金堂久哉
日光商事		五島辰夫	境 貞雄
(有)平野石油店		堺 省二	佐武 勇
丸進商事(株)		佐藤幸一	佐藤 博
高岡石材工業(株)		沢田力弥	滋野留男
高建設(株)		高畠外喜夫	竹部俊道
(株)ホクシー		塚田一昭	鶴巻弘文
(有)笹島商事		寺井堅八	中田 勲
日本海油送(株)		流田範男	鍋沢俊夫
北陸銀行伏木支店		鍋田信幸	根尾まり子
・砺波ライオンズクラブ		萩原真人	橋爪征男
ガスコム ノムラ		林 修二	林 忠男
・となみセントラルライオンズクラブ		林 豊輝	原田知己
浅田久直	安念康治	原野久夫	張田孝一
飯野宏之	石黒 稔	馬場恵一	福井靖人
石黒康邦	今田一昭	藤崎武雄	堀田 隆
大島肇一	太田 守	宮脇正秀	宗景 昭
大野実留	大橋利則	本居宏一	森 秋也
大村 武	岡部昇栄	森川辰夫	山崎 泉
雄川洋一	沖 敬	山崎喜作	山田 繁
小野豊次郎	金井正信	山田保博	横山征四郎
金子 豊	下保正信	芳崎強誠	吉田 隆
河原貞雄	北川成美	吉田未治	吉田光男
木田裕也	木津英雄	米田隆治	米原 蕃
瘡師丈夫	久保河内功	米林清一	

阪神化成工業様には、平成8年11月より毎週土曜日、富山新聞「テレビラジオ週報」1/2ページに「献眼登録」呼び掛けの広告を掲載していただいております。

また、阪神容器株式会社様には、富山駅近くに「アイバンク連絡室」として一室を無償にて御提供いただいております。委員会会議等に利用させていただきます。

募金ありがとうございました。

☆一般

アゴラ悠友教室	10,055
いきいき健康と長寿の祭典	2,751
フェルベール	28,022
ますだ眼科医院	53,858
メガネハウス店	50,000
ラブバンド	35,000
井村医院	12,883
桐沢眼科医院	2,257
柴田眼科医院	16,837
大和売店	1,052
中西グループ	10,251
匿名希望	25,739
富山医薬大眼科	22,077
理事、評議員	147,615

☆チックタック関係

コンビニタウン魚津店	3,813
コンビニタウン入善店	25,706
チックタックルート41店	4,517
チックタック宇奈月温泉店	33,098
チックタック栄町店	7,983
チックタック下村店	12,652
チックタック下大久保店	8,030
チックタック岩瀬西宮店	5,775
チックタック魚津大光寺店	6,649
チックタック戸出春日店	3,684
チックタック江尻店	10,589
チックタック国分浜店	16,009
チックタック黒部三日市店	17,402
チックタック黒部田家店	7,487
チックタック若富店	22,505
チックタック小杉東店	26,215
チックタック上佐野店	15,373
チックタック上赤江店	19,657
チックタック針原新町店	9,425
チックタック清水町店	18,800

チックタック西新湊店	8,644
チックタック大沢野店	17,136
チックタック中屋店	15,290
チックタック中川原店	15,057
チックタック二俣店	11,801
チックタック姫野店	4,396
チックタック氷見稲積店	17,143
チックタック氷見柳田店	15,825
チックタック伏木古府店	20,583
チックタック本郷店	24,134
チックタック本部	14,064
チックタック問屋センター	20,960
チックタック野村第五店	18,161

☆ライオンズクラブ関係

となみセントラルライオンズクラブ	6,501
となみ東ライオンズクラブ	3,251
高岡志貴野ライオンズクラブ	7,244
高岡南ライオンズクラブ	48,673
小矢部ライオンズクラブ	5,960
上市ライオンズクラブ	19,790
朝日町ライオンズクラブ	33,646
砺波ライオンズクラブ	9,210
入善ライオンズクラブ	5,057
氷見ライオンズクラブ	110,820
富山セントラルライオンズクラブ	1,811
富山ライオンズクラブ	45,100
富山昭和ライオンズクラブ	8,083
富山西ライオンズクラブ	21,850
富山東ライオンズクラブ	44,503
富山南ライオンズクラブ	56,313

お詫び

アイバンクだより第7号掲載の募金のご報告の中で誤りがありましたので、ここに謹んでお詫びいたしますとともに、訂正いたします。

高岡南ライオンズクラブ	12,341
-------------	--------

平成12年度事業報告

平成12年度の献眼登録者は379名で開設以来の累計は17,794名となった。
平成12年度の角膜移植希望待機者は、12月31日現在において20名となった。
今年度の献眼者は6名で角膜移植を受けたのは、11名となった。

- 1月11日：平成11年度事業報告並びに決算報告の監査（事務局にて）
13日：平成11年度事業報告並びに決算報告の監査（県庁にて）
15日：常務理事会開催
2月11日：理事会・評議員会開催
16日：献眼があった。
16～19日：アイバンクコーディネーターセミナー参加（事務局）
：角膜カンファレンスにて発表（事務局）
19日：献眼者のご葬儀参列（理事長・事務局）
3月3～4日：東海北陸ブロック連絡協議会開催（富山県にて）
4月6日：常務理事会・理事会開催
：「EYEBANK JOURNAL」の配付。
24日：フェルベール開店1周年記念「ベギー葉山リサイタル」後援
5月2日：献眼があった。
4日：献眼者のご葬儀参列（理事長・事務局）
16日：献眼があった。
17日：臓器移植等対策連絡協議会出席（事務局）
18日：献眼者のご葬儀参列（理事長・事務局）
25日：ライオンズクラブLCIF交付金による医療機器贈呈式出席（理事長・事務局）
6月27日：ライオンズクラブ四献研修会出席（於富山赤十字血液センター）
7月5日：常務理事会開催
12日：献眼があった。
14日：献眼者のご葬儀参列（理事長・事務局）
28日：第23回全国アイバンク連絡協議会出席（理事長・常務理事・事務局）
8月10日：理事会・評議員会開催
20日：献眼があった。
22日：献眼者のご葬儀参列（理事長・事務局）
23日：ライオンズクラブ2R3Zガバナー公式訪問にて寄付を頂く。（理事長）
10月5日：ライオンズクラブ2R2Zガバナー公式訪問にて寄付を頂く。（理事長）
6日：上市ライオンズクラブチャーターナイト35周年に出席。寄付を頂く。
ライオンズクラブ2R1Zガバナー公式訪問にて寄付を頂く。
11日：理事会開催
23日：FMとやま「FOR YOU 未来倶楽部」のラジオ番組で普及啓発を行った。
27日：広報委員会開催
11月4日：「第2回アイバンク・コーディネーター会議」出席（事務局）
11月8～9日：「いきいきとやま・第13回健康と長寿の祭典」にて啓発活動を行う。
11月30日：献眼があった。
12月1日：富山南ライオンズクラブ主催アイバンクチャリティー「加賀山 昭・歌千代民謡の夕べ」にて寄付を頂く。（理事長）
2日：献眼者のご葬儀参列（理事長・事務局）
17日：藤巻厚子先生CD発表記念会に出席（理事長・広報委員長）
20日：理事会開催
22～23日：「アイバンクワークショップ」参加及び発表（事務局）

収支決算書 (一般会計)

(平成12年1月1日～12月31日)

1. 収入の部

(単位：円)

科 目		予 算 額	決 算	差 異
項 目	節			
基本財産運用収入	基本財産利息収入	300,000	198,105	101,895
会費収入	賛助会費収入	2,000,000	961,000	1,039,000
事業収入	幹旋手数料	1,500,000	900,000	600,000
補助金収入	富山県補助金	1,000,000	1,000,000	0
寄付金収入	LC奉仕銀行寄付金収入	4,000,000	4,000,000	0
	寄付金収入	5,000,000	3,632,000	1,368,000
	募金収入	1,500,000	1,324,772	175,228
雑収入	受取利息	10,000	7,282	2,718
	その他の収入	200,000	115,740	84,260
当期収入合計 (A)		15,510,000	12,138,899	3,371,101
前期繰越収支差額		9,331,028	9,331,028	0
収支合計 (B)		24,841,028	21,469,927	3,371,101

2. 支出の部

(単位：円)

科 目		予 算 額	決 算	差 異	
項 目	節				
事	募集登録費	旅費交通費	10,000	4,500	△5,500
		事務消耗品費	150,000	121,499	△28,501
		印刷製本費	300,000	101,250	△198,750
		通信運搬費	550,000	427,225	△122,775
		小計	1,010,000	654,474	△355,526
業	連絡調整費	諸謝礼	300,000	239,355	△60,645
		旅費交通費	200,000	132,030	△67,970
		印刷製本費	100,000	49,350	△50,650
		事務消耗品費	50,000	21,336	△28,664
		器具消耗費	150,000	86,446	△63,554
		器具消耗費 (血液検査代)	100,000	55,284	△44,716
		小計	900,000	583,801	△316,199
費	眼衛生思想普及啓発費	募金費	0	0	0
		印刷製本費	1,800,000	1,000,000	△800,000
		事務消耗品費	10,000	1,500	△8,500
		広報費	700,000	684,490	△15,510

事業費	その他	旅費交通費	50,000	7,500	△42,500
		研修費	300,000	202,800	△97,200
		研究助成金	300,000	300,000	0
		小計	3,160,000	2,196,290	△963,710
		弔慰費	100,000	60,000	△40,000
		雑費（振込手数料）	30,000	17,600	△12,400
		雑費（その他）	250,000	165,313	△84,687
		小計	380,000	242,913	△137,087
	計		5,450,000	3,677,478	△1,772,522
	管理費	諸給与	給与手当	3,200,000	3,060,000
福利厚生費			450,000	364,502	△85,498
小計			3,650,000	3,424,502	△225,498
会議室		理・評議員会他	400,000	336,479	△63,521
		旅費交通費	50,000	1,080	△48,920
		小計	450,000	337,559	△112,441
需要費		通信運搬費	500,000	373,130	△126,870
		租税公課	0	0	0
		対外渉外費	50,000	15,042	△34,958
		事務消耗品費	50,000	34,650	△15,350
	賃借料	50,000	29,448	△20,552	
	雑費	10,000	8,382	△1,618	
小計	660,000	460,652	△199,348		
計		4,760,000	4,222,713	△537,287	
総務費	固定資産	什器備品購入支出	100,000	0	△100,000
	取得支出	小計	100,000	0	△100,000
	特定預金支出	基本財産積立預金	0	0	0
		第3回県民大会引当預金	500,000	500,000	0
		退職給与引当預金	250,000	250,000	0
		減価償却引当預金	250,000	250,000	0
		10周年記念事業引当預金	3,000,000	3,000,000	0
	小計	4,000,000	4,000,000	0	
	特別会計振替支出	予備費	0	0	0
	計		4,100,000	4,000,000	100,000
当期支出合計 (C)		14,310,000	11,900,191	2,409,809	
当期収支差額 (A)-(C)		1,200,000	238,708	961,292	
次期繰越収支差額 (B)-(C)		10,531,028	9,569,736	961,292	

賛助会員ご加入のお願い

アイバンクは、角膜疾患によって目の不自由な方のために献眼者の募集と移植希望者の募集等の事業を行っています。設立以来の献眼登録者は、平成13年6月現在で約17,885名となっており、また、平成13年7月現在までに106名の方が移植手術を受け、視力を回復しておられます。『明日に明るい愛』を合い言葉に一人でも多くの方に光のプレゼントができるよう努力しています。しかし、年間の事業の運営を円滑に行うには多額の資金が必要となり、この事業費は基本財産の運用収入のほか賛助会員費、寄付金収入を主なる財源として充てております。皆様の格別のご理解ご協力をお願い申し上げます。

賛助会費

団体・法人会員	年会費	1口	10,000円
個人会費	年会費	1口	3,000円

賛助会員にご加入をお考えの方はアイバンク事務局へご連絡下さい。

〒930-0194 富山市杉谷2630

財団法人 富山県アイバンク事務局

TEL (076)434-5710/FAX (076)436-0146

編集後記

緑の美しい季節となりました。アイバンクに仲間入りをさせていただいて1年余、井村理事長を先頭に、全員が協力して道を拓く熱意に心を打たれております。ライオンズクラブの全面的な支援、事務局入江さんの縁の下の方にも頭が下がります。

『アイバンクだより』『三百字の遺言』を多くの方たちに読んでいただきたいと願っています。殺伐としたニュースの続く昨今、人間同志のぬくもりを大切に活動しているアイバンクを、どうぞ応援してください。

北海点字図書館の発意で、28年間全国から寄せられた短歌、俳句より選び、視覚障害を持った方たちの歌集『まなざし』が公刊されました。勇氣と希望をもち、慈しむ心を大切に生きている方たちの声を聞いてください。

盲い吾は職場を去ると虚空掴み北国日和の空仰ぐなり
見えずともめくれば匂う初曆
美しき日日眼裏まなうらに浮く
子に便り書く眼が欲しや月冷ゆる

子の顔もがりふえを生涯知らず虎落笛
裸木や盲いて捨てしこと多し
広報委員 清水 英子

★広報委員

伊勢 豊彦	金井 澄子
寺崎 達二	山下 和夫
清水 英子	野村 謹吉
水越 二郎	

第8号 平成13年8月15日

発行

財団法人 富山県アイバンク

富山市杉谷2630

富山医科薬科大学眼科内

TEL (076) 434-5710

発行人 井村 東司三